

# 2023 年度 石狩西部広域水道企業団 地球温暖化対策実行計画の進捗状況

## 1 二酸化炭素の排出量の推移

当企業団の事業実施に伴う二酸化炭素排出量の推移は、図 1 のとおりです。

2023 年度の二酸化炭素排出量は 234t-CO<sub>2</sub> となり、基準年度に比べ 674t-CO<sub>2</sub> 減少(▲74%) しました。これは、当企業団の電力購入先の電気事業者の変更に伴い排出係数\*が減少したことによるものです。

\*電気事業者が小売りした電気の発電に伴い排出した二酸化炭素排出量。単位は t-CO<sub>2</sub>/kWh。

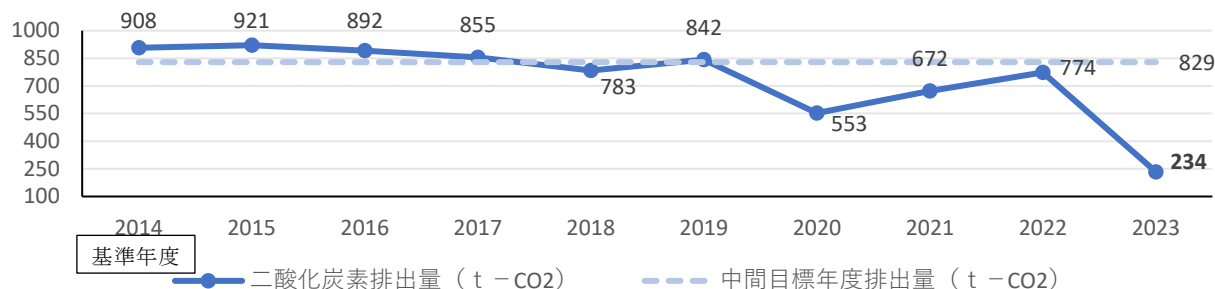


図 1. 二酸化炭素排出量の推移

実行計画		区分	2023 年度実績
基準年度 (2014 年度) 排出量 (A)	908	排出量 (B)	234
削減目標	削減量	削減量 (A-B)	674
	削減率	削減率 ((A-B)/A)	74%
中間目標年度 (2024 年度) 排出量	829		

表 1. 中間目標と取組実績

※「排出量」は、二酸化炭素排出量を指し、単位は t-CO<sub>2</sub>。

※小数点以下を四捨五入して表示しているため、削減量や削減率は、表の数値による計算結果と一致しない場合があります。

## 2 電気使用量の推移

当企業団の水道施設における電気使用量及び送水量 1 m<sup>3</sup>当たりの電気使用量の推移は、図 2 のとおりです。

2023 年度の電気使用量は、前年度より増加し、送水量 1 m<sup>3</sup> 当たりの電気使用量も微増しました。

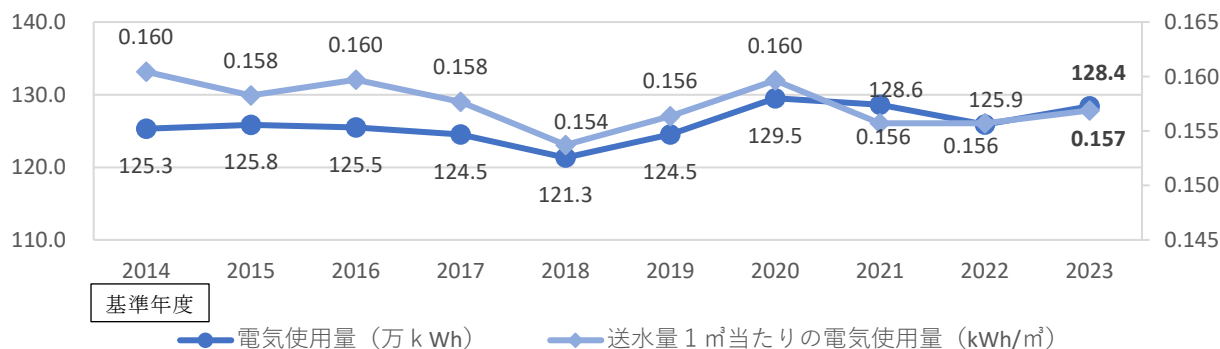


図 2. 電気使用量の推移

### 3 要因別の二酸化炭素排出量の割合

エネルギー種別の二酸化炭素排出量は図3のとおりであり、76.0%が電気利用により生じています。

また、施設別の二酸化炭素排出量は図4のとおりであり、ポンプ設備を備えた当別浄水場及び当別分水施設からの排出量が全体の約7割を占めています。

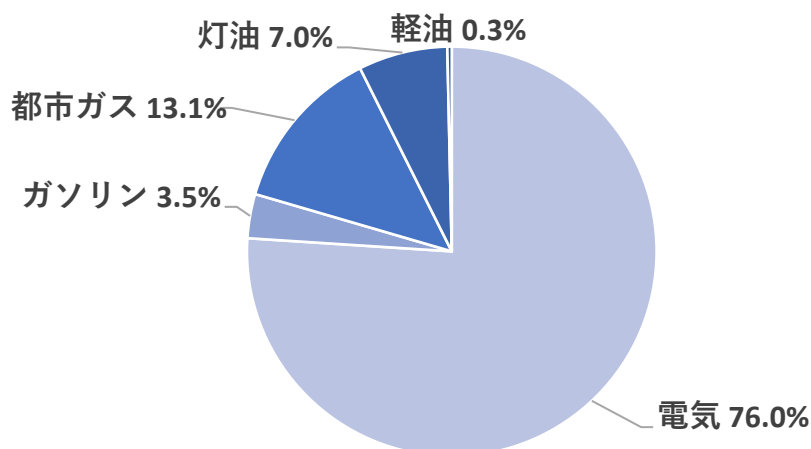


図3. 二酸化炭素排出割合(エネルギー種別)

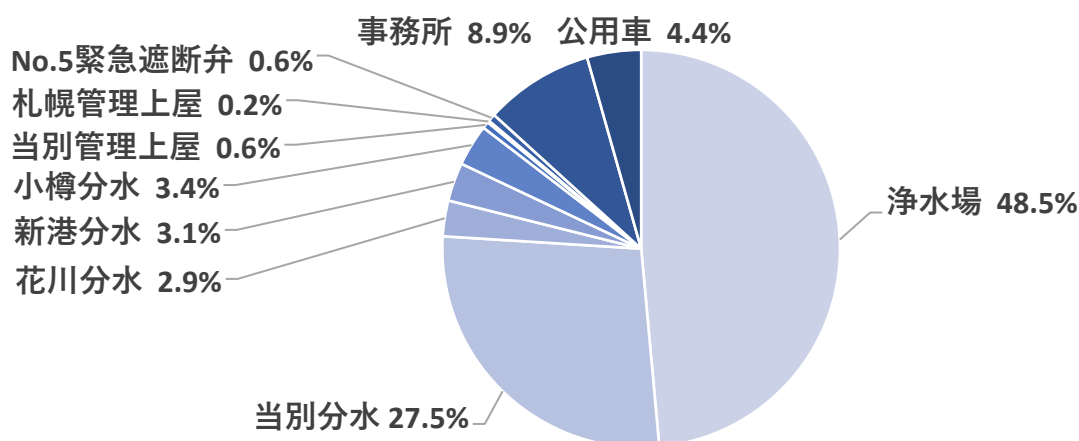


図4. 二酸化炭素排出割合(施設別)

### 4 実行計画に基づく主な取組

#### ○電気使用量の削減

- ・ 浄水施設及び分水施設に係る運転管理の効率化及び適正化に取り組むとともに、水道施設の運転管理業務受託者に同様の取組を要請しました。
- ・ 不必要な照明の消灯や、パソコン・コピー機の省電力機能の有効活用等の節電に取り組むとともに、水道施設の運転管理業務受託者に同様の取組を要請しました。

#### ○ガソリン使用量の削減

- ・ 効率的な公用車の使用や、エコドライブを実践しました。

#### ○灯油・ガス使用量の削減

- ・ クールビズ及びウォームビズを推進しました。

### 5 今後の取組

要因別の二酸化炭素排出割合の傾向を踏まえ、企業団職員による取組を徹底するとともに、引き続き、水道施設の運転管理業務受託者に対しても本計画に基づく取組を要請し、二酸化炭素排出量のさらなる削減を目指します。